

●緊急理事会 25 日開催 提案について了承 緊急総会の開催方法は文書提案メールなどで返答二つの点

理事会では、大筋字句の修正は当然である、また「電磁的方法による」との文言の挿入が各所に指摘されています。時代の変化に基づくものであるとして、了承されました。続いて副理事長の2名との数字記載、および特別代表3名との数字記載にこの際どう対応するののかとの指摘があり、「若干名」又は、数字を活かして「以内」の追加が適当だとの意見が上がりました。いずれも幅を含ませておくのがいいとの理事会での結論になりました。定款の修正は総会での決議が必要であります。しかし現在新型コロナウイルスの感染防止から、三密回避の順守が強調されておりますので、改めて総会の開催は行わないで、社員各位に原案をメールなどで送付提案し、以後ご意見があれば、お伺いをさせていただくことにいたしました。各位にはご面倒をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。この件についても理事会で決定されました。

●竹蛇籠の製作進捗状況 23/60本が製作(9月13日~28日) 森島太田有田播川大釜山村

9月23日から製作に取り組みましたところ28日現在60本の目標に対して23本が製作できました。かかわっていただきました人数は13人で延べ人数は60人となり、製作にかかった日数は19日になっています。伝統河川工法の技術普及を大きな目標に掲げていますが。十分達成できているとは言いきれない状況です。今年で最終の取組になるかもしれないので、このチャンスをしっかり生かしていただきたいと思っております。できるだけ多くの皆さんに一度でもご参加ご協力を頂けるよう、お誘いや働きかけをお願い申し上げます。毎週土日は午前9時30分から12時30分ごろまで取り組んでおりますので、ご案内をお願いいたします。

19日の日曜日に同志社大学の学生さんをご参加いただき、一応竹割からひび入れ、幅精整に引き続き底辺部の組み合わせ、そして胴体部分の編み方までこなしていただきました。まだご感想は聞かせていただけていないのですが、ぜひお聞きしたいと思っております。



●里山農園 ジャガイモの再度の植え付けを執行 獣(アライグマ?)の侵入防止に鉄網使用されたので経過を観察

サツマイモの収穫祭を予定していましたが、獣(アライグマ?)に1個を残してすべて食べられてしまい全滅させられました。そしてジャガイモの植え付けをしたところも種芋もすっかりなくなりました。何とか種イモが用意できたので、再度の植え付けがされました。そして獣被害を受けないようにマルチを張るとか穴網を乗せるとかの対策を行いました。これが功を奏して、うまく被害を防げればと願っています。ご苦労でした。成果を期待しています。

●真竹の収集に限界が発生 これまで蛇籠を製作して5年目になります。1年に280本ぐらいの真竹が必要になります。なかなかこれだけの長さとおさを揃えるのが大変難しく、近隣木津川の竹藪を探しても見つからなくなりました。少し困ったことになりつつあります。ですから現在4分割を行って4.5mm幅を確保しているのですが、全体に太い竹が用意できなくなってきているので、本数は増加するけれど3分割によって材料の確保をしなければならなくなってきました。

●同志社大学の都築君・竹蛇籠製作に参加 都築君から、学生が地域に出かけて、多くの皆さんと一緒に学べる機会が貴重だと考えている、しかしそのチャンスがなかなか難しいのですとのこと、里山の会に話しかけがありました。その折りに今こう言った取組を行っているからご参加されたらと案内をいたしました。都合がついて19日に来られました。私が直接会ったわけではあ

りませんがご感想をお聞きしたいと思っています。そして先日 11 月 7 日又は 8 日に多くの学生にオンラインになるけれどチャンスを生かしたいので、その準備のために 10 月 15 日伺いたいと連絡がありました。そのための下準備に来ていただくものと思っています。お話をするためのスライドの準備に取り掛かりました。木津川と京田辺市と題して 20 コマぐらいが適当かと思っています。

●木津川堤防左岸 15 km 付近 ツルボ満開

本会発生以来の群生が実現しています・・ここ数日間が満開 花のジュウタンとなっています
今年の木津川堤防でツルボが例年に無く広い面積で群生しています。この状態は、里山の会が発足して 5 周年を記念して発行した「木津川の花ごよみ」の表紙を飾った写真がツルボの群生でした。撮影をした場所は堤防の外法でした。しかし今回は内法です。そのころに匹敵する繁茂状況になっています。是非一度ご覧になっておいてください。次の雨で散ってしまうかもしれません。そのころ 2~3 年間素晴らしい天然の花のじゅうたんが出現していました。



●毛馬閘門から淀川河口までの視察会／参加者募集

10 月 16 日 9 時 50 分毛馬閘門入口集合 16 時解散大阪駅 参加費無料でガイドはおなじみの河合典彦先生に心を込めてご案内をいただきます。主催は琵琶湖・淀川流域圏連携交流会で 20 年度第 2 回リレー見学会として開催されます。14 km をマイクロバスで移動します。見どころは、毛馬閘門で淀川大堰をわたり、西中島ヨシ原の景色や、十三干潟、大塚切れ洪水碑、洪水対策として阪神電車鉄橋のかけ替え工事（陸閘）でそのほか矢倉海岸、大阪市漁港等普段は目にできない施設景色等満載です。一般に行き難い所を河合先生が解説いただきます。こうしたコースの取組に出会うことはない魅力ある取り組みです。コロナの関係で里山の会からは 2-3 名の参加枠になっております。



里山農園で柿の木が大きく成長

たくさん実が着きました

サツマイモの例があって、このままではカラスがついばむかもしれないとの心配から、昨日の作業日に防虫網を全体に被覆しました。昨年や一昨年はかなりの実りがみられましたが、生き物の食料に役立ってしまいました。色づくとおいしい柿が手に入ります。ご苦勞をおかけしました。